



日本で一番遠い島

母島

東京都小笠原

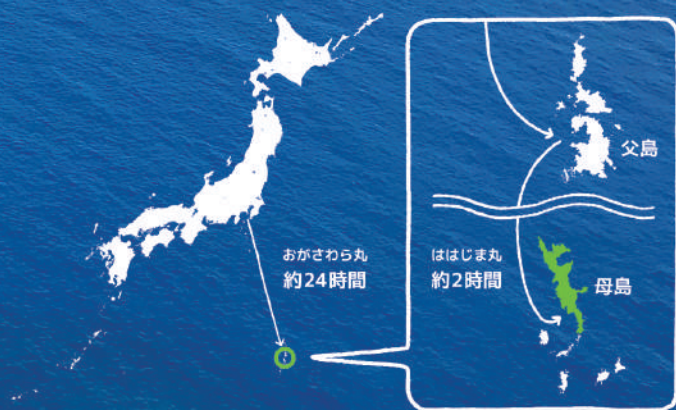


東京から船で26時間 — 日本で一番遠い島、母島へ

長い長い船旅の先に見えるのは、青い海と深い森に包まれた小さな島。

大陸と陸続きになったことのないこの土地には、
小笠原独自の進化を遂げた不思議な生き物たちが多数生息し、
世界自然遺産にも登録されています。

東京から南に 1050 キロ。
絶海に浮かぶ孤島、母島へようこそ。



母島へのアクセスは、東京から小笠原諸島の玄関口となる父島へ
「おがさわら丸」に乗船し24時間、
さらに、父島から「ははじま丸」に乗り換えて2時間で到着します。



神秘の森を歩いてみれば 奇跡の出会いが待っている

亜熱帯の樹々がうっそうと生い茂る母島のジャングル。
希少な動植物たちの棲み家は、生命のエネルギーに満ちあふれている。
この土地を知り尽くしたガイドと共に、ここでしか会えない森の仲間たちに会いに行こう。

標高 463m。父島・母島列島最高峰の乳房山は、希少種、固有種の宝庫



乳房山



母島でしか
会えない
希少種

ハハジマメクロ



母島でしか
会えない
希少種

オガサワラカワヒロ

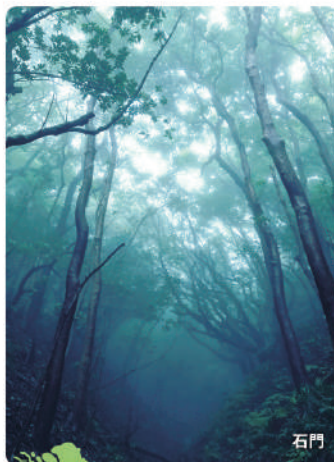


テリハハマボウ

他にも見どころがいっぱい。ツアーに参加して、母島の絶景を満喫しよう



南崎遊歩道



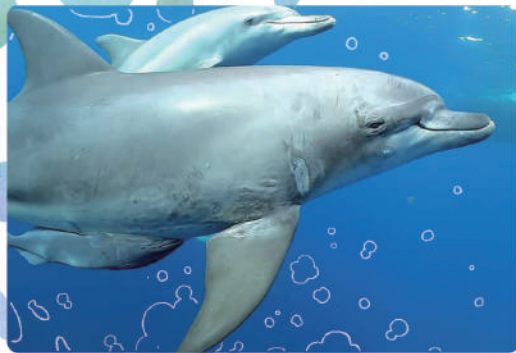
石門



鯨ヶ崎展望台

クジラやイルカの楽園は 濃く深く、どこまでも透き通った青色だ

ボートに乗ってクジラの群れに出会ったり、
シュノーケルでイルカやウミガメと追いかけてしたり。
夢のような体験に、感動と興奮が止まらない。





御幸之浜



北港

この島の時間は、 ゆっくりゆっくり流れている

太陽の光を浴びて、集落を歩く。

潮風を感じながら、ガジュマルの下で一息つく。

何でもない時間が、最高の贅沢だ。





島レモン



海産熟成ラム Mother



ドラゴンフルーツ



アオリイカ



島トマト



タコノ葉細工



ハハギョ※



島寿司



パッションフルーツ

見て、触れて、味わって・・・ 五感に刻む、島の記憶

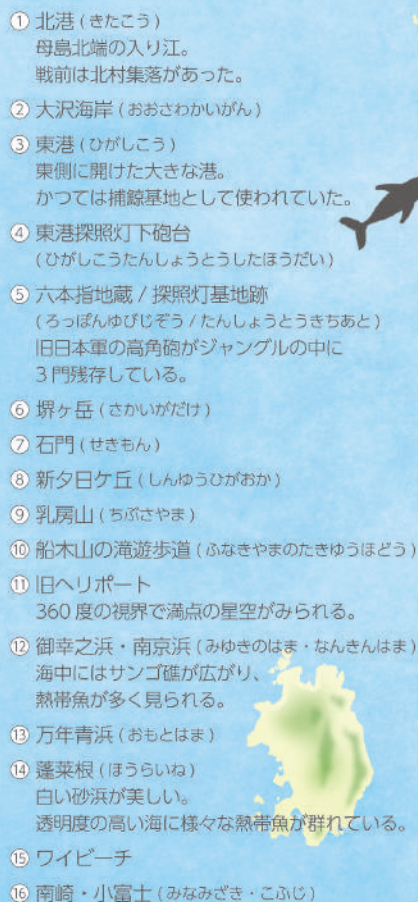
小笠原特有の料理や、この土地の気候を生かした野菜やフルーツを存分に味わおう。
母島でしか販売していないハハギョやタコノ葉細工は旅の思い出におすすめ。



※ 漁業従事者の履くビーチサンダルを小笠原諸島独自の呼び方で「ギョサン」といい、母島限定で売られているギョサンを「ハハギョ」という。

母島

全体MAP

- 
- ① 北港 (きたこう)
母島北端の入り江。
戦前は北村集落があった。
 - ② 大沢海岸 (おおさわかいがん)
 - ③ 東港 (ひがしこう)
東側に開けた大きな港。
かつては捕鯨基地として使われていた。
 - ④ 東港探照灯下砲台
(ひがしこうたんしょうとうしたほうだい)
 - ⑤ 六本指地藏 / 探照灯基地跡
(ろっぽんゆびじぞう / たんしょうとうきちあと)
旧日本軍の高角砲がジャングルの中に
3門残存している。
 - ⑥ 堺ヶ岳 (さかいがだけ)
 - ⑦ 石門 (せきもん)
 - ⑧ 新夕日ヶ丘 (しんゆうひがおか)
 - ⑨ 乳房山 (ちぶさやま)
 - ⑩ 船木山の滝遊歩道 (ふなきやまのたきゆうほうどう)
 - ⑪ 旧ヘリポート
360度の視界で満点の星空がみられる。
 - ⑫ 御幸之浜・南京浜 (みゆきのはま・なんきんはま)
海中にはサンゴ礁が広がり、
熱帯魚が多く見られる。
 - ⑬ 万年青浜 (おもとはま)
 - ⑭ 蓬萊根 (ほうらいね)
白い砂浜が美しい。
透明度の高い海に様々な熱帯魚が群れている。
 - ⑮ ワイビーチ
 - ⑯ 南崎・小富士 (みなみざき・こふじ)

陸と海のアクティビティで母島を遊び尽くそう



⑨ 乳房山



乳房山コース (ちぶさやま)

父島、母島の最高峰（463m）。
登山道では希少な動植物に出会える
など、見どころが多い。
尾根道からの眺望も素晴らしい。
(健脚向け)



⑬ 南崎・小富士



南崎・小富士コース (みなみさき・こふじ)

タコノキやピロウなど、亜熱帯の林を
歩く約2キロのコース。
頂上（86m）からの景色は抜群。
(やや健脚向け)



⑥ 堺ヶ岳 ⑦ 石門

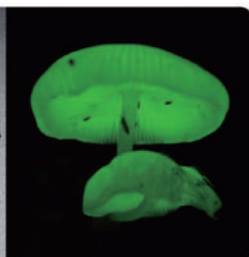


堺ヶ岳コース / 石門コース (さかいがだけ / せきもん)

国立公園の特別保護地区で、
森林生態系保護地域。
入林にはガイドの同行が必須。
湿性高木林を主体とした極めて貴重な
植物が生育している。(健脚向け)



ナイトツアー



戦跡ツアー



島内観光ツアー



スキューバダイビング



ボートクルージング



フィッシング・遊覧
ホエールウォッチング

ガイドツアーで母島を冒険すると、母島の自然をより一層楽しめます。プライベートツアー、母島一日ツアーもあります。
アクティビティについての問い合わせは母島観光協会へ。

集落 MAP



サンセットシアター



静沢の森遊歩道
(しずかさわのもりゆうほうどう)

静沢

しずかさわ



③ 脇浜なぎさ公園



③ 鯨ヶ崎展望台

元地

もとち

乳房山登山口



宿泊施設

飲食店

飲食店+宿泊施設

売店・レンタル・サービス

観光スポット

② ロース記念館

村民会館

村役場

前浜

① 小剣先山

小笠原支庁
出張所

母島観光協会



① 小剣先山（しょうけんざきやま）

眺めがよく集落が箱庭のように見渡せる。（標高約112m）



② ロース記念館

郷土資料館。かつては砂糖収納庫として使用されていた。
東京都指定の有形文化財。



③ 脇浜なぎさ公園・鯨ヶ崎展望台

母島一大きな砂浜。
鯨ヶ崎展望台からは
冬場にザトウクジラが観察できる。

石次郎海岸



評議平

ひょうぎだいら





島内での移動手段



母島にはバス・タクシーがありません。集落内（人の住んでいるエリア）はすべて徒歩で行くことができますが、北港や南崎などの観光スポットに行くには車やバイクなどが必要になります。

ガイドツアーには観光スポットまでの送迎も含まれます。

島内では、レンタカー、レンタルバイク、レンタルサイクル、有償運送*（乗り合いタクシー）がご利用いただけます。

有償運送*・・・公共交通機関がないため、運輸局に許可を受けた自家用車での有料送迎サービスです。

料金は、乗車距離・ご利用人数により異なります。

当日のご予約ですと対応できない場合があるため、事前のご予約をおすすめしています。

ガイドの運転する自家用車で島内の各名所をめぐる「島内観光ツアー」もあります。

気軽に島の北から南までを楽しめるコースで、父島からの日帰りでもご参加いただけます。



母島シーズンカレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
動植物	ザトウクジラ											ザトウクジラ
					グリーンペペ							
					アオウミガメの産卵							
					ムニンヒメツバキ							
							ハバジマノボタン					
						オガサワラシコウラン						
特産品	島トマト							島レモン				島トマト
				パッションフルーツ								
イベント	日本一早い海びらき（1月1日）				母島フェスティバル（4月～5月頃）							
							母島サマーフェスティバル（7月～8月）					
						母島返還祭（6月下旬）			母島カノー大会（9月）			
									御嶽神社祭り（10月第二日曜日）			
										月ヶ岡神社祭り（11月23日）		





ご来島前にお読みください

・母島基本情報

【面積】 19.88 km² 【標高】 463m (乳房山) 【人口】 約 450 人

小笠原諸島は、東京から南約 1,000 キロの太平洋上に散在する 30 余りの島々の総称です。

気候は亜熱帯に属し、年間を通して暖かく、夏は本土並み、冬は本土よりも暖かいです。

毎年元旦に海びらきを行っています。水着で快適に泳ぐことができるのは 6 月から 10 月頃です。

その他のシーズンは水温が低いので、ウェットスーツなどが必要です。

水着だけで遊泳が可能なシーズンでも、日焼け対策としてラッシュガードなどを着用することをお勧めします。

一度も大陸と陸続きになったことがない海洋島のため、この島でしか見られない固有の生き物など自然が豊富で、2011 年にはユネスコの世界自然遺産に登録されました。

1830 年頃に初めて欧米人と太平洋諸島民が定住するようになり、1876 年に日本領土となりましたが、第二次大戦後は米軍占領下となるなど特異な歴史と文化を有しています。

空港はなく、アクセスは小笠原諸島の玄関口である父島と東京・竹芝桟橋との間を

片道 24 時間の定期船が週に 1 便程度運航しているのみです。父島～母島間は「ははじ丸」が運航しています。

母島の集落は、ははじ丸が入港する沖港周辺のみです。集落から離れると携帯電話はほぼ圏外となります。

日用品と生鮮食品を扱う商店が 3 件ありますが、コンビニや薬局はありませんので、

薬や赤ちゃん用品などの必需品はご来島前にご準備ください。

簡易郵便局とゆうちょ銀行 ATM があり、提携した金融機関のキャッシュカードがご利用できます (手数料がかかります)。

母島についての詳細情報は、母島観光協会ホームページをご覧ください。

<https://hahajima.com/>

・小笠原カントリーコード～自然と共生するための 10 カ条

小笠原諸島本来の自然の姿を保ちながら楽しんでいただくためのルールです。

ルールを守って自然を楽しんでください。

- [1] 貴重な小笠原を後世に引き継ぐ
- [2] ゴミは絶対に捨てずに、すべて持ち帰る
- [3] 歩道ははずれて歩かない
- [4] 動植物は採らない、持ち込まない、持ち帰らない
- [5] 動植物に気配りしながらウォッチングを楽しむ
- [6] サンゴ礁等の特殊地形を壊さない
- [7] 来島記念などの落書きをしない
- [8] 全島キャンプ禁止となっているので、キャンプしない
- [9] 移動は、できるだけ自分のエネルギーを使う
- [10] 水は大切にし、トイレなど公共施設はきれいに使う



小笠原母島観光協会

<https://hahajima.com>

TEL:04998-3-2300

MAIL:info@hahajima.com

